

常任委員会の動き

○ 審査概要・活動

総務文教 常任委員会

2 議案 可決

○ 消防ポンプ自動車の取得について

問 入札に係る予定価格を事前に公表しているが、仕様に基づき積算した結果が他市町村とも大きな差がないのであれば、予定価格は誰でも計算できるものである。このようなことを考えた場合、事前公表は必要なのではないか。

答 職員に対し、予定価格を採る不正行為や官製談合等の防止を考え、事前に公表しているものである。事後公表とした場合、予定価格の範囲内で落札されない場合も発生し、数回にわたり入札を執行している状況もあるため、事前公表としているものである。

問 入札の透明性を確保するために指名競争入札ではなく、一般競争入札がよいのではないか。



消防ポンプ自動車

答 広い範囲での周知が困難であるという点により、指名競争入札としているものがあり、一般競争入札に切り替えた場合、本市においても周知が難しいと考え、指名競争入札としているものである。なお、一般競争入札で行うことも研究しており、今後は考慮していきたい。

○ 平成29年度行田市一般会計補正予算(第2回) 学用品費等補助金

問 学用品費等補助金に關し、就学援助費の入学前の支給について、その周知はどのように行うのか。

答 市ホームページや市報

ぎょうだへの掲載、校長会等での説明を行うほか、小学校入学者については、9月末から11月にかけて行われる各学校での就学時健康診断の中で案内文書及び申請用紙を配布し、12月中旬に申請されるよう説明を行う予定である。

中学校入学者については、就学援助を受けている児童を含め6年生全員に対し、11月頃に案内文書を配布する予定であり、機会を捉え、漏れないよう周知を行っていきたいと考えている。また、広く地域の実情を把握している民生委員等にも協力依頼ができればよいと考えている。

学校給食センター

問 公募型のプロポーザル方式により5年契約を行う予定であるとの説明であるが、同様の提案が複数の事業者からなされた場合、何を重視し、評価基準とするのか。

答 食中毒の発生を起さないことが大切であり、衛生管理対策の考え方や調理員、従業員の健康管理体制、ノロウイルス対策の考え方、調理事故、異物混入等発生時の対応方法、製造物責任保険の損害

賠償制度の加入等を第一に考え、次いで、学校給食に対する基本的な考え方や調理業務に取り組む意欲、給食調理人員体制及び円滑な実施、職員研修等を評価基準として考えている。

建設環境 常任委員会

7 議案 可決

○ 訴えの提起について

問 判決後、損害金等が必ず支払われる保証はあるか。

答 現時点では相手方と連絡が取れておらず、財産等も把握していないため、支払い能力の有無は不明である。

○ 妻沼南河原環境施設組合規約の変更について

問 今後予定している熊谷市との協議事項にはどのようなものがあるか。

答 歳計現金の清算及び公用文書の取り扱い並びに土地、建物、設備及び車両等の財産の処分について協議していく予定である。



妻沼南河原環境浄化センター

○ 平成28年度行田市都市計画行田市下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 下水道事業は各家庭で接続してもらうことが重要だが、排水設備改造貸付金はどのように周知しているか。

答 工事施工前に開催している工事説明会で説明しているほか、ホームページ上にも貸付金制度のページを設け、周知に努めている。

○ 平成28年度行田市南河原地区簡易水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 滞納者に対し給水停止処分を行った件数は何件か。

答 平成28年度は予告状を送付した件数が64件、月2回の給水停止日の当日対象件数は15件である。

問 給水停止の期間はどのく